

# びとう和広後援会ニュース

2008.07.15

第19号

発行責任者  
長谷川満敏

7/25 (金) は

三菱電機三田製作所の

サマーフェスティバル

お待ちしております!

写真は昨年ステージです。

暑中お見舞い申し上げます。

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

ガソリン暫定税率の廃止・復活以来、原油価格は益々高騰を続け、7月より180円超のところもあるようです。原油高のあおりを受けた輸送費・材料費の急増により、いよいよ我慢できない業種は、値上げや内容量の縮小に踏み切りました。燃料代に見合わないので出漁を休止している漁師が多数出ている報道もあり、これからの生活や食卓が心配です。結局シワヨセはサラリーマンや弱者にきているのです。

7月7日よりG8首脳会議（洞爺湖サミット）が開催されました。環境サミットとも言われ、温室効果ガス削減の具体的論議が進むのかと思えば、排出権や自国を守る発言に終始していました。飢餓や貧困の問題を論じるのに出される食事の贅沢さや1週間弱のサミットのために国際メディアセンターを30億円かけて建てるなど、不自然さを感じます。今の世界的な問題である原油を投機対象とすることの問題やこの機会に日本の主張が見られないのも寂しい限りです。

今後、内閣再編や新首相への交代があるかもしれませんが、いつ衆議院選挙があっても対応できるように、民主党としても頑張ってお参ります。6月21日、三田に民主党鳩山幹事長をお迎えして、時局講演会を開催し、梶原康弘前衆議院議員を先頭に闘うことを確認いたしました。

三田市は6月議会が6/9～6/27に開催され、市議会として「後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書」や議員倫理条例を可決しました。また、一般質問の市長答弁において、ゴミ処理費用の市民負担は当面先送りし、ゴミ減量・再資源化の諸策を優先することとなりました。さらに、私は、厳しい財政を考慮して、議会にかかる費用においても、共に痛みを負う時だと考え、議員定数2人削減を提案しましたが、残念ながら保身的な議員に8：14で否決されました。

三田市政も50周年を迎え、歴史を振り返るとともに正すべきところを正し、これからの将来を見た、活き活きとしたまちづくりを提案してまいります。

後援会活動としては、継続的に、直接会員様のお宅を訪問し、私の活動報告と皆様のご意見・ご要望をお聞きしております。

これからも対話を第一と考え、ご意見・ご要望をお伺いし、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力のある元気なまちづくりに向け、精一杯頑張ってお参ります。今後とも力強いご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



三田市議会議員

かずひろ  
びとう和広



## 議会報告(6月定例議会)

### ■ 6月定例議会(6/9~6/27開催)

6/9: 定例議会(1日目)市長施政方針・議案説明  
6/18-19: 定例議会(2、3日目)一般質問  
6/27: 定例議会(4日目)議員提案・採決

<民主党会派の代表質問:(質問者:檜田)>  
(び:は質問/答弁に対する私の考えです。)

#### 1. ゴミ処理有料化の先送り

問: ゴミ処理の有料化の前に、まず諸問題の定量化を図り、ゴミ減量や資源化を優先するべきである、と訴えてきた。近年、原油高騰による諸物価の値上がりや各種負担金の増加する中、市民の生活はますます苦しくなっている。この上、ゴミ袋(約15円)にゴミ処理費(約138円の半分程度)を市民負担とするのは問題と考えるが、どうか?

答: ゴミ処理有料化はゴミ減量化推進に向けて有効な施策と考えているが、市民の協力・理解なくしてはできない。この際、まずごみ減量化・資源化に取組み、その実施状況の結果を見て、有料化の是非について議論を深めたい。(以上、竹内市長答弁)

び: ⇒ 2年半、私が言い続けてきた「ゴミ減量化・資源化を優先」の考えが認められた、市長の英断です。市が一体になってゴミ削減に努力することが、地球環境・温暖化に向けた真の活動だと考えています。⇒ 「びとう和広の視点」を参照下さい。

#### 2. 市民病院の院外処方に弱者への計らいを!

問: 4月から市民病院では原則薬を処方せず、市内の処方薬局で受け取ることとなった。市民病院に一番近い薬局は幹線を渡り、坂を100m以上登らなければならない。現在、車のないお年寄りなど弱者に行なっている院内処方の暫定処置を今後も継続できないか?

答: 6月以降院外処方率は92.5%と順調に推移している。今後全面的な移行を進めるが、例外措置として一定の配慮が必要である。

び: 例外措置の具体的ルールを整備し、本当に困っている方々への適用を要求して参ります。

#### 3. 大澤新教育長の教育方針について

問: 3月末に就任した大澤三田市教育長の、教育方針と意思について伺いたい。

答: 「確かな学力」を身につけ、「豊かな心」を育み、これからの変化の激しい社会を担う子どもたちに必要な力として「生きる力」を培っていくことが必要である。そのために、学校・地域・家庭そして行政が、互いに信頼のもと、ともに手を携えて取組みを進めていく。

び: 教育方針は前教育長と大きく変わるものではありませんが、新教育長が、行政や地域との連携を強調されている点は評価いたします。子どもは地域の宝です。教育指導要領が大きく変わり、「生きる力」を強調しながら、ゆとり教育から学力強化への揺り戻しが見られます。私は、学力偏重にならぬよう、知識・技能の習得と思考/判断/表現力の両方をバランスよく育成できることが大切だと考えています。

## 議会報告(議員提案)

今回は通常審査以外に次の大きな議案がありました。

### 1. 後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書

生活文教常任委員会より提案の後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書が採択されました。

後期高齢者医療制度は小泉政権の郵政民営化選挙で得た衆議院3分の2以上の与党による強行採決により、十分に議論されることなく通過した法案の一つです。

実施前から問題指摘していたにも関わらず4月より運用開始され、直後からトラブル続きで、お年寄りを始めそのご家族や医療関係より問題指摘を受けています。

私は単に廃止でなく、年金や医療全体の問題として、将来に亘って確実に支えられる仕組みづくりが大切だと考えており、この考えが盛り込まれた、抜本的見直しを要望する意見書となっています。

### 2. 議員倫理条例

議員倫理検討委員会より提案の議員倫理条例が採択されました。

各地で起きる議員疑惑の中で、業者との関係が指摘されています。三田市議会では、議員あるいは議員の親族が経営に携わる業者が三田市の入札に参加できない、議員としてとるべき態度など、議会の健全性を求めた倫理条例を全員一致で採択しました。

### 3. 議員定数二人削減条例

民主・公明議員の連名により「市議会議員定数二人削減条例」を提案し、びとうが代表して提案説明を致しましたが、現状維持の議員が多く、賛成8:反対14(棄権1)で否決となりました。

厳しい財政の中、4年間で47億円の行財政改革で市民も職員も痛みを負っている状況です。議会も痛みを負うべきだと考え定数削減を訴え続けていました。

9月に市議会議員選挙を控え、次の4年間をみて、この6月議会で何とか形にしたかったのですが、保身議員が多く、残念です。

⇒ 「びとう和広の視点」を参照下さい。

<阪神北4市の議員定数・費用比較(平成19年度)>

市名	議員定数 法定上限	現 議員定数	人口 (人)	人口 /議員	面積 (km <sup>2</sup> )	面積 /議員
宝塚市	38	26	221,250	8,510	101.9	3.9
伊丹市	34	28	193,173	6,899	25.1	0.9
川西市	34	26	160,485	6,173	53.4	2.1
三田市	34	24	113,368	4,724	210.2	8.8

★法定議員定数は人口10万~20万人の市は同等の扱いで、34人を上限と定められ、条例定数は各市の判断となります。

市名	議員報酬 (万円/月)	政務調査費 (万円/月)	議会費 (億円/年)	一般会計予算 (億円/年)
宝塚市	65.2	10.0	4.9	657.0
伊丹市	59.9	6.0	5.0	589.0
川西市	60.3	6.0	5.1	427.4
三田市	49.0	4.5	3.3	338.0

★最近の市町村合併で議員が全国で大幅に削減され、議員互助会負担額は大きく膨らみ、報酬の16%です。

## びとう和広の視点

### ■ <ゴミ処理有料化の先送り>

私は、2年半前の行革で「ゴミ袋15円⇒50円」の提案時点から、ゴミ処理有料化は、出し方がうまくなるか、モラルの低下を招きかねないし、本質的にゴミが減るわけでは無い、ゴミ削減や資源化始め、生活全般から見直す活動が必要だと、訴えてきました。また、ゴミ処理施設建て替えや焼却灰の埋め立て施設の処理限界等、近い将来の課題に向けたゴミ減量化が緊急課題であることは事実なので、市民に説明責任を果たすためにも、定量的な分析と将来的に必要な経費や投資金額を精査し開示するよう訴えてきました。

しかし、市当局は、毎回概算の数字で、ゴミ処理有料化がゴミ削減の最善との答弁の繰り返しでした。マイバッグ持参運動によるレジ袋削減も、ティッシュ配りやノボリなど意識向上策だけで、マイバッグ奨励スタンプやレジ袋有料化や発泡スチロールトレイの回収など各店舗に任せた形です。

私は、循環型環境システムを活用し、生ゴミや雑草・街路樹の堆肥化・チップ化を推進するとともに、市職員が自ら汗して、ゴミ削減に向け活動し、各店舗に協力依頼や広報での店舗の活動紹介、一般家庭向けにゴミ分別や生ゴミ処理の指導・支援など提案してきましたが、ほとんど進展しませんでした。

今回、ゴミ処理有料化の先送りが決まったことで、職員もゴミ減量への活動が進められることとなり、私の提唱するゴミ削減策も推進されるのです。これからは削減に向けた具体案を訴えてまいります。

### ■ <議員定数2人削減条例の否決>について

私は、前号で、「現在の議会費3億3千万円の1割を目標に経費削減し、議員一人あたり約1千万円（報酬と諸経費の合計）かかる」として、3名程度の定数減が必要」と記述しました。

昨年12月、市民約5600人の署名とともに議員定数削減の要望を受け、議員定数等検討委員会を立上げ、半年近く検討しましたが、議員定数削減と議員報酬などの削減で意見が分かれ、全く平行線のまま結論がでずに終結されました。

今回の6月議会に、民主党と公明党の議員連名で、ハードルを下げて2名削減の議員提案をしたわけですが、「突然議員提案をした」とか、「選挙前のパフォーマンス」とか、「痛みを負うのなら報酬削減」とか反論されました。

なぜ、この時期か？それは報酬や政務調査費はいつでも削減できるけれど、議員定数削減は選挙のときしかできないからです。このタイミングを逃せば、4年後まで定数削減はできません。4年間は議会費の大幅削減は難しくなります。

また、なぜ議員定数削減か？阪神北の他3市と比較し、議員一人当たりの人口は4724人で三田は手厚いのです。同等の行革効果を議員報酬削減で実現するには14%以上の削減になり、とても大きな負担です。

反対議員が対案を出さずに、反対するだけなら、もともと議会費削減の意思はなかったということです。市民感情とか市民の代表とか言いながら、署名戴いた多くの市民を無視したことになります。

最終判断は、市民の皆様にご委ねたいと思います。

## 活動報告・予定 ■ 5～7月の活動

### ■ 委員会

5/20, 6/2, 6/20 : 生活文教常任委員会

- ・市民病院：医師/看護師対策経過報告
  - ・医師数は定数に復帰（小児科は2名に復帰しましたが、夜間対応はまだ出来ません。腎臓内科は依然交渉中。糖尿/内分泌専科が開設されました。）
  - ・平成19年度決算概要説明（赤字は13億円）
- ・特定健康診断等実施計画（個別5月～、集団6月～）
- ・国保税額改正：後期高齢者医療制度などにより増額例：所得0円の2人世帯（24,300円⇒29,300円）  
所得2百万円の2人世帯（202,900円⇒239,600円）
- ・図書館祝日開館4月より開始：利用状況説明
- ・キッピーモール5階行政コーナー⇒6階に集約

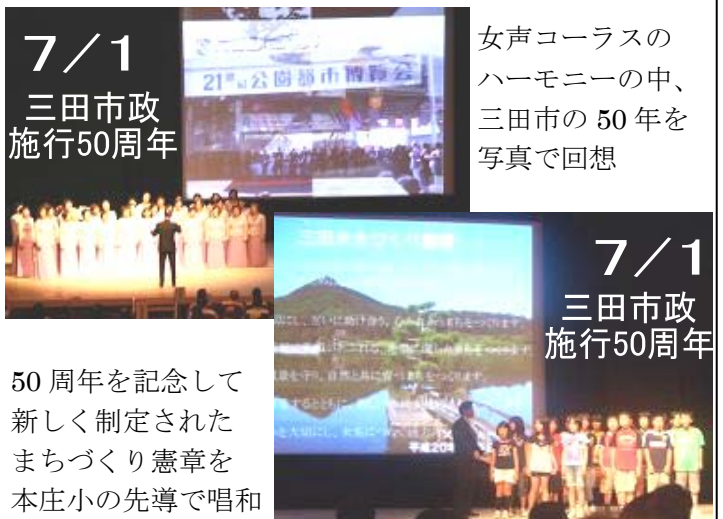
6/26 : 健康福祉審議会

- ・介護保険の見直し年度として、介護保険運用の現状報告とアンケート調査報告されました。

### ■ 行事出席

7/1 : 三田市政施行50周年記念式典に参加。

- ・50周年を記念して、まちづくり憲章を制定。



### ■ 民主党・連合関連行事

5/\_3 : 民主党兵庫5区市中街宣

6/21 : 民主党時局講演会（鳩山幹事長来演）  
設営・運用・締め挨拶



9月に三田市議会選挙を控え、民主党市議団を代表して活動報告と締めのご挨拶をさせて頂きました。

## 後援会活動報告

日ごろより後援会活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

びとう和広は、皆様の生の声を大切に、出来るだけお会いして、問題や疑問をお聞きしています。皆様から頂いた、一つひとつの案件に真剣に取り組み、その改正や実現に向けて全力で頑張ります。力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願いたします。

## 7/25(金) 三菱電機三田製作所 サマーフェスティバルに協賛

### <プログラム>

- 17:05 開場
  - 17:15 軽音楽部ライブコンサート
  - 17:55 開会宣言
  - 18:10 炎神戦隊ゴーオンジャーショー
  - 18:40 有菱会会長・来賓挨拶
  - 19:05 テツマロのビックリジャンボバルーンショー
  - 19:40 よしもと爆笑ライブ(たむらけんじ・アジア)
  - 20:10 めざせ!! 海外旅行大抽選会
  - 20:40 閉会宣言
- 以上のステージ行事の他、各種屋台でにぎわいます。

後援会として協賛し、新鮮野菜市を開きます。



写真は昨年の後援会テントです。

**野菜1パック百円均一！  
早い者勝ちです。  
品切れの際はご容赦下さい。**

## <後援会拡大活動・会員様宅訪問活動>

「皆様の声を市政に！」と訴えて市議会に送っていただきました。現在、びとう本人が後援会会員様のお宅を訪問し、活動を報告するとともに、皆様の生の声を聞かせていただき、今の市政に欠けているもの、問題点、方向性、ご意見、ご要望など確認させていただいています。ぜひ、ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

あわせて、後援会の拡大活動も展開いたしております。ぜひ皆様の親戚・友人・知人をご紹介下さい。

去る6/14・15両日、後援会幹事の皆様のご協力により、一斉訪問活動を実施いたしました。ご協力頂いた皆様に心より感謝いたします。

私の「4つの政策」しっかり財政・にっこり安心・のびのび育成・いきいき活力をみていただき、ご意見・ご支援賜りますよう、よろしくお願いたします。



写真は後援会活動に向けて開催した決起集会です。



## びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、議会に送り出して頂いて、もうすぐ4年、2期目の挑戦に向け、一つひとつ駒を進めています。議会においては、三田市の将来を思い、財政はじめ多くの課題に取り組んでいます。今回は、議員定数削減を否決されましたが、厳しい三田市に今必要なことは何か？と

議会改革活動を精力的に進め、市政のチェックや後援会活動とあわせて、力強く邁進しており、まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。

『びとう和広』は、これからも、後援会の皆様にも少しでもお会いができるよう、また、より多く皆様の声をお聞きし、問題解決に向け、全力で活動する所存でございます。何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願申し上げます。

**びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏**

### 【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号  
三菱電機労働組合三田支部気付  
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号  
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730  
<電子メール> [bit@venus.dti.ne.jp](mailto:bit@venus.dti.ne.jp)  
<ホームページ> <http://www.bit-to-kazuhiro.com>